



## 2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 BEENOS株式会社  
 コード番号 3328 URL <https://www.beenos.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 直井 聖太  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03-6859-3328

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	22,075	2.4	2,667	365.3	2,384	373.5	1,248	
2022年9月期第3四半期	21,566	17.6	573	47.4	503	52.7	72	83.8

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 3,419百万円 ( %) 2022年9月期第3四半期 11,174百万円 (787.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	100.76	95.85
2022年9月期第3四半期	5.82	5.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	29,612	14,264	47.4	1,140.82
2022年9月期	33,909	18,001	52.5	1,443.65

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 14,042百万円 2022年9月期 17,803百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		25.00	25.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)					

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注)2. 2023年9月期の配当金につきましては現在未定です。

### 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,120	11.0	4,500		4,200		2,580		209.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、P5(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	13,335,995 株	2022年9月期	13,335,995 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,027,066 株	2022年9月期	1,003,874 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	12,386,346 株	2022年9月期3Q	12,521,667 株

(注)信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)の導入により、期末自己株式数には、BEENOS従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております(2023年9月期3Q 25,200株、2022年9月期 58,800株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、テクノロジーの力とこれまでに培ったグローバルコマースの知見をいかし、人・モノ・情報とグローバルコマース市場を繋ぎ、新しい常識や可能性を提供し続ける「グローバルプラットフォーマー」を目指しております。

今期は中期の目標である連結流通総額1,000億円の達成に向け、各事業領域において「グローバルコマース部門：配送プランや決済手段を中心としたBuyeeサービスの改善とマーケティングの強化」、「バリューサイクル部門：高単価商品の買取と国内販売の強化」、「エンターテインメント部門：エンタメ業界向けECプラットフォーム『Groobee（グルービー）』の導入企業と利用者数の増加による流通拡大」をそれぞれ目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、Eコマース事業においては、グローバルコマース部門は、外部環境等を好機と捉え、積極的なキャンペーン施策の実施による流通総額の増加を図り、バリューサイクル部門は、店頭接客の改善やキャンペーンの実施により、買取成約率の向上と買取高の増加を図りました。また、エンターテインメント部門は、大型イベント開催によるグッズ販売とGroobeeの導入先の増加により流通総額が増加しました。インキュベーション事業においては、営業投資有価証券の売却を積極化し投資回収を進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,075百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は2,667百万円（前年同期比365.3%増）、経常利益は2,384百万円（前年同期比373.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,248百万円（前年同期は四半期純利益72百万円）となりました。

当社が経営指標として重視している流通総額（国内外における商品流通額）につきましては、当第3四半期連結累計期間で705億円（前年同期比22.3%増）となりました。

当第3四半期末における営業投資有価証券の簿価は70億円（前四半期末における簿価は71億円）、当第3四半期末における時価評価額※は245億円（前四半期末における時価評価額は229億円）となり、為替変動により、時価評価額が増加しました。

※営業投資有価証券の時価評価額の算定根拠についてはセグメント別業績の②インキュベーション事業をご参照下さい。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①Eコマース事業

##### i) グローバルコマース

「海外転送・購入サポート事業（FROM JAPAN）」におきましては、アメリカ向けに、軽量帯の荷物が安価に配送できる新配送プランの提供や5月以降為替が円安傾向となったことが追い風となり、規模拡大の好機と捉え、プロモーションを積極的に投下し、Buyeeの当第3四半期の流通総額は前年比で22.8%増加しました。また、既存のECサイトへのタグ設置のみで海外販売を可能にする越境購入サポートサービス「Buyee Connect」が、当第3四半期に株式会社Francfrancが運営するインテリアECショップ「Francfranc」に導入されるなど提携先の拡充にも努めました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、ショッピングサイト「セカイモン」において新たにフランスとオランダの“eBay”サイト商品の取り扱いを開始し、既存のアメリカ・イギリス・ドイツ・カナダ・オーストリアと合わせて7か国の商品の購入が可能になりました。

なお、今期より「ファッション特化型越境ECサービス運営事業（FASBEE）」をインキュベーション事業セグメントから本セグメントに変更しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,895百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は2,816百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

##### ii) バリューサイクル

「ブランド・アパレル買取販売事業」におきましては、販売面では当第2四半期中の買収の苦戦の影響もあり、当第3四半期は販売商品数が少ない状況が続いたことで売上高が前年比で減少しました。買取面では、店頭接客の改善や大型の買取キャンペーンを実施したことにより買取成約率が上昇し、買取額が増加したことで当第4四半期の販売に寄与していく見込みです。また、引き続き買取専門店「ブランディア」の出店を進め、2023年4月に「ブ

ランディア心斎橋店」をオープンし国内15店舗となりました。

「酒類の買取販売事業」におきましては、買取面では、お酒の資産管理・査定相場情報アプリ「MyCellar（マイセラー）」での登録資産金額が2億円を突破したことを記念しキャンペーンを行うなど、買取強化に努めた結果、高額品を中心としたワインの買取高は大きく増加しましたが、国産ウイスキーの市場流通量不足により全体の買取額は前年比で減少しました。販売面では、国内マーケットプレースを中心に高級ワインなどの販売が順調に推移したことで売上高が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,472百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

### iii) エンターテインメント

「エンターテインメント事業」におきましては、当第3四半期に大型イベントが開催されたことでグッズ販売が増加するとともに、今期よりインキュベーション事業セグメントから本セグメントに変更した、エンターテインメント業界向けECプラットフォーム「Groobee（グルービー）」において、新たにアニメ専門チャンネル“アニマックス”のECサイト“ANIMAX ストア”のサポート開始や、既にサポートをしているECサイトでのイベントグッズの会場受け取り機能の導入や、オンラインガチャ機能の活用などにより、売上が増加しました。

なお、今期より主要な取扱アーティストの商品販売形態が受託販売になったことに伴い、売上高の計上が、これまでの商品代金から受託手数料に変更となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は913百万円（前年同期比66.9%減）、営業損失は165百万円（前年同期は営業損失176百万円）となりました。

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,281百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は2,634百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

## ②インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、当社及び当社の連結子会社が保有する営業投資有価証券の売却の積極化により当第3四半期には約7.3億円の売却益を計上しました。なお、従前より基本方針として掲げている、新規事業の先行投資費用と本社費用を相殺する利益を投資売却によって継続的に計上していく方針に変更はなく、今後も投資回収を進めてまいります。

また、前期までインキュベーション事業に含まれていた「事業として確立する前の新規事業」は、「その他事業」として別のセグメントとして開示しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,575百万円（前年同期は売上高248百万円）、営業利益は1,455百万円（前年同期は営業損失215百万円）となりました。

なお、当第3四半期末における営業投資有価証券の簿価は70億円（前四半期末における簿価は71億円）、当第3四半期末における時価評価額※は245億円（前四半期末における時価評価額は229億円）となり、為替変動により、時価評価額が増加しました。

※営業投資有価証券の時価評価額は、上場銘柄は市場価格、未上場銘柄は直近の取引価格にて評価した金額です。（当社が投資損失引当金を計上している銘柄については簿価にて評価）当該金額は、当社の試算に基づく金額であり、監査法人の監査を受けておりません。

## ③その他事業

海外人材雇用をテクノロジーで支援するSaaS型越境HRプラットフォーム「Linkus（リンクス）」につきましては、新規の機能拡充を図りながら、さらなる拡大が見込まれる特定技能外国人の雇用のサポートを開始しております。

「トラベル事業」においては、コンサート会場と主要駅を結ぶシャトルバスサービス「FanVas（ファンバス）」の実証実験を開始しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は566百万円（前年同期比11.8%減）、営業損失は689百万円（前年同期は営業損失709百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

#### (i) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ4,296百万円減少し、29,612百万円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が24,864百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,848百万円の減少となりました。その主な要因は、保有する上場株式の株価変動に伴う簿価の減少などによる営業投資有価証券5,856百万円の減少であります。

また、固定資産合計は、4,748百万円となり、前連結会計年度末と比べ551百万円の増加となりました。その主な要因は、繰延税金資産521百万円の増加であります。

#### (ii) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ560百万円減少し、15,348百万円となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が14,447百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,032百万円の増加となりました。その主な要因は、未払金1,021百万円の増加であります。

一方、固定負債合計は、900百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,592百万円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金負債1,179百万円の減少であります。

#### (iii) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3,736百万円減少し、14,264百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金4,764百万円の減少であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月8日に決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。セグメント毎の内訳については下表のとおりです。

当社は今期よりセグメント区分の変更を行っております。(参考)前期実績につきましても、新セグメントに組み替えて表示しております。変更理由は「セグメント情報等」の項をご参照ください。

	Eコマース事業			インキュベーション事業	その他事業	連結
	グローバルコマース	バリューサイクル	エンターテインメント			
流通総額	700億円	160億円	140億円	-	18億円	1,018億円
前期比	28.3%増	6.1%増	40.8%増	-	48.0%増	26.0%増
売上高	127億円	160億円	12億円	25億円	6.2億円	331億円
前期比	25.9%増	6.1%増	69.8%減	742.4%増	24.9%減	11.0%増
セグメント利益	40.0億円	4.0億円	1.0億円	21.5億円	▲10.0億円	45.0億円
前期比	20.9%増	100.3%増	-	-	-	1,269.3%増
(参考)前期実績						
流通総額	545億円	150億円	99億円	-	12億円	807億円
売上高	101億円	150億円	42億円	2億円	8億円	298億円
セグメント利益	33.0億円	1.9億円	▲3.0億円	▲9.6億円	▲9.7億円	3.2億円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,551	10,128
受取手形及び売掛金	911	868
営業投資有価証券	12,870	7,014
商品	2,225	2,587
未収入金	1,257	1,650
その他	2,912	2,633
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	29,713	24,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	730	783
減価償却累計額	△394	△427
建物及び構築物（純額）	335	355
工具、器具及び備品	242	265
減価償却累計額	△172	△185
工具、器具及び備品（純額）	69	79
その他	38	42
減価償却累計額	△15	△18
その他（純額）	23	23
有形固定資産合計	428	458
無形固定資産		
のれん	160	—
その他	319	287
無形固定資産合計	479	287
投資その他の資産		
投資有価証券	2,741	2,913
繰延税金資産	54	576
その他	492	512
投資その他の資産合計	3,287	4,001
固定資産合計	4,196	4,748
資産合計	33,909	29,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	373	46
短期借入金	3,550	4,383
1年内返済予定の長期借入金	900	400
未払金	5,459	6,481
預り金	1,942	1,847
未払法人税等	277	153
その他	911	1,136
流動負債合計	13,415	14,447
固定負債		
長期借入金	1,048	624
繰延税金負債	1,210	30
資産除去債務	212	222
その他	22	22
固定負債合計	2,493	900
負債合計	15,908	15,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775	2,775
資本剰余金	3,925	3,874
利益剰余金	5,367	6,305
自己株式	△2,107	△2,088
株主資本合計	9,962	10,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,620	1,855
為替換算調整勘定	1,220	1,317
その他の包括利益累計額合計	7,841	3,173
新株予約権	198	222
純資産合計	18,001	14,264
負債純資産合計	33,909	29,612

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	21,566	22,075
売上原価	12,374	10,920
売上総利益	9,191	11,154
販売費及び一般管理費	8,618	8,486
営業利益	573	2,667
営業外収益		
受取利息	4	3
為替差益	135	—
助成金収入	3	1
受取保証料	14	14
その他	54	26
営業外収益合計	212	45
営業外費用		
支払利息	12	13
持分法による投資損失	206	203
為替差損	—	90
支払手数料	5	1
投資事業組合運用損	10	18
貸倒引当金繰入額	11	—
その他	36	1
営業外費用合計	282	328
経常利益	503	2,384
特別利益		
持分変動利益	73	—
投資有価証券売却益	54	—
新株予約権戻入益	5	5
特別利益合計	134	5
特別損失		
固定資産除却損	9	10
減損損失	—	139
特別損失合計	9	149
税金等調整前四半期純利益	627	2,240
法人税、住民税及び事業税	474	972
法人税等調整額	80	19
法人税等合計	554	992
四半期純利益	72	1,248
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	1,248

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	72	1,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,329	△4,765
為替換算調整勘定	756	99
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△1
その他の包括利益合計	11,101	△4,667
四半期包括利益	11,174	△3,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,174	△3,419
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュベーション事業	その他事業	合計		
	グローバル コマース	バリュー サイクル	エンター テインメント	小計					
売上高									
顧客との契約から生じる収益	7,335	10,928	2,763	21,027	—	290	21,318	—	21,318
その他の収益(注) 1	—	—	—	—	248	—	248	—	248
外部顧客への売上高	7,335	10,928	2,763	21,027	248	290	21,566	—	21,566
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	188	0	198	—	351	550	△550	—
計	7,346	11,116	2,763	21,226	248	642	22,117	△550	21,566
セグメント利益又は損失(△)	2,361	△6	△176	2,178	△215	△709	1,254	△680	573

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△680百万円には、セグメント間取引の消去△453百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益673百万円及び全社費用△900百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料及び配当であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	8,871	10,399	913	20,184	—	315	20,499	—	20,499
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	1,575	—	1,575	—	1,575
外部顧客へ の売上高	8,871	10,399	913	20,184	1,575	315	22,075	—	22,075
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	24	73	0	97	—	251	348	△348	—
計	8,895	10,472	913	20,281	1,575	566	22,424	△348	22,075
セグメント利 益又は損失 (△)	2,816	△17	△165	2,634	1,455	△689	3,400	△732	2,667

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△732百万円には、セグメント間取引の消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益252百万円及び全社費用△948百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、事業領域別にセグメントを構成し、『Eコマース事業』及び『インキュベーション事業』の2つを報告セグメントとしております。

このうち『インキュベーション事業』には「投資育成事業」と「事業として確立する前の新規事業」の2つが含まれておりましたが、それぞれの事業の連結業績に与える影響額が大きくなってきたこと、それぞれの損益を明確に区分することで当社の損益の状況をよりわかりやすく表示することができるかと判断したため、『インキュベーション事業』から「事業として確立する前の新規事業」をそれぞれ別のセグメントとして開示することといたしました。

「投資育成事業」は従来通り『インキュベーション事業』とし、「事業として確立する前の新規事業」については、それぞれの事業規模を勘案し『その他事業』として開示しております。

また、これまで「事業として確立する前の新規事業」として『インキュベーション事業』に含まれていた「ファッション特化型越境EC事業(FASBEE)」と「エンターテインメント向けECプラットフォーム事業(Groobee)」の事業化の目処がたったため、それぞれ『Eコマース事業』の「グローバルコマース」と「エンターテインメント」に含めて開示することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。